

大阪中之島美術館「NHK日曜美術館50年展」

番組50年の歩みをたどる全5章の展示構成を詳しく紹介

大阪展限定作品・関連イベントも紹介

会期 | 2026年10月10日（土） - 12月20日（日）

大阪中之島美術館（大阪市北区）では、2026年10月10日（土）から12月20日（日）まで、「NHK日曜美術館50年展」を開催します。1976年の放送開始から50年を迎えたNHK「日曜美術館」。本展では、これまでの放送回から厳選した約60作家、140点を超える作品を、番組出演者の言葉や映像、高精細映像とともに紹介します。

東京、静岡に続く最終会場となる大阪では、巡回内容に加えて大阪会場限定作品を展示します。本リリースでは、全5章の展示構成を詳しく紹介するとともに、大阪会場限定作品、関連イベントなどの情報をお知らせします。



みどころ

1. 世界一に認定*された「日曜美術館」の秘蔵映像と名作が同時に楽しめる！
2. 約60作家・140点超の名品が一堂に集結！
3. 縄文土器から現代美術まで、時代もジャンルも超えた名品との出会い
4. 大阪会場限定作品が、壮大なスケールで登場！

*NHK「日曜美術館」は「週間ファインアートテレビ番組の最長放送（Longest running weekly fine art TV Programme）」としてギネス世界記録™に認定（2026年3月22日）



大阪限定作品

大阪会場限定で展示される作品の一部をご紹介します。



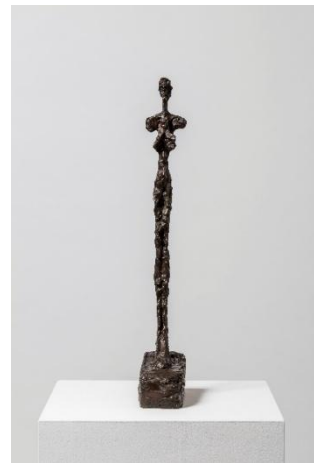
鴻池朋子 《皮綴帳》 2015年 600.0×2400.0cm
高橋龍太郎コレクション
撮影：中道淳（ナカサ&パートナーズ）
© Tomoko Konoike



高橋由一 《花魁》重要文化財
1872年 東京藝術大学



エドヴァルド・ムンク 《マドンナ》
1895 - 1902年 群馬県立近代美術館
＊展示期間：11月17日 - 12月20日



アルベルト・ジャコメッティ 《腕のない細い女》
1958年 彫刻の森美術館
(公益財団法人彫刻の森芸術文化財団)



伊藤若冲 《石燈籠図屏風》(左隻) 江戸時代・18世紀 京都国立博物館
＊展示期間：11月17日 - 12月20日



伊藤若冲 《石燈籠図屏風》(右隻) 江戸時代・18世紀 京都国立博物館
＊展示期間：10月10日 - 11月15日



左より

志村ふくみ 《舞姫》2013年 個人蔵
＊展示期間：11月17日 - 12月20日

志村ふくみ 《柳の国》2012年 個人蔵
＊展示期間：10月10日 - 11月15日



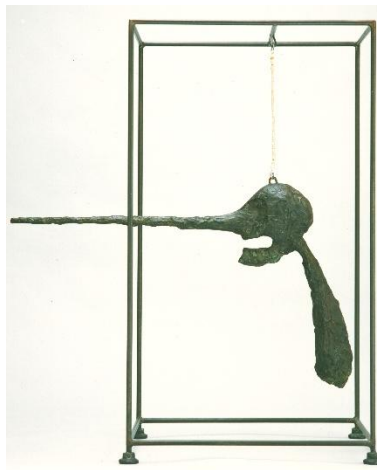
章構成

第1章 語り継ぐ美 ～時を超えて美を語る言葉・語らせる作品

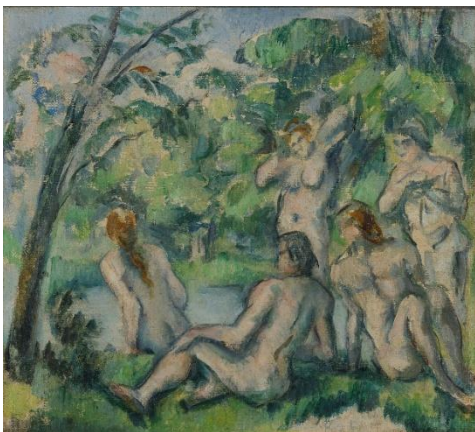
1976年4月、日曜美術館50年の歴史は「私と○○」というタイトルで幕を開けました。大江健三郎が語るフランシス・ベーコン、舟越保武が伝える松本竣介、モデルとなった矢内原伊作が伝えるアルベルト・ジャコメッティなど、各界の第一線で活躍するゲストの言葉と古今東西の作家と作品をご紹介します。



オーギュスト・ロダン 《考える人》
1880年 静岡県立美術館



アルベルト・ジャコメッティ 《鼻》
1947年 大阪中之島美術館



ポール・セザンヌ 《水浴》 1883 - 87年
公益財団法人大原芸術財団 大原美術館



石田徹也 《飛べなくなった人》
1996年 静岡県立美術館

第2章 日本美の再発見 古代から明治まで

ある時代、ある人の視点で再発見された瞬間に輝く美があります。美術界にしばしば訪れるブームの中で、日曜美術館も時代の息吹をくみとり、“日美なりの”美の再発見を届けてきました。村上隆、大野一雄、井浦新らが紡ぐ言葉で、縄文土器・土偶、伊藤若冲、曾我蕭白、葛飾北斎など、日本美術の名品が再び輝きだします。



《縄文土器 深鉢 火焰型土器》
新潟県長岡市深沢町岩野原遺跡出土
縄文時代（中期） 國學院大學博物館



曾我蕭白 《群仙図屏風》
江戸時代・18世紀 東京藝術大学

*展示期間：右隻 11月10日 - 11月29日 左隻 12月1日 - 12月20日



第3章 工芸 伝統と革新

日曜美術館がこの50年の間、毎年欠かさずこつこつと発信し続けてきた「工芸」の世界。正倉院の名品から始まり、伝統を継承し対話を重ねる人間国宝の技、古の技を超えようと精進する超絶技巧まで、世界に誇る日本の優れた工芸をご堪能ください。



塩見亮介 《白銀角鴬面附白絲絨兜袖》
2022年 個人蔵



安藤緑山 《竹の子に梅 牙彫置物》
大正 - 昭和初期 京都国立近代美術館
撮影：木村羊一



吉田包春 《紫檀木画挟軾（模造）》
東京藝術大学



第4章 災いと美

50年の歩みのなかでは、疫病や自然災害、繰り返される戦争、災禍に作家が向き合うことで生まれた“美（アート）”の存在もありました。災いと向き合い、理解し、受け止めるために美が果たしてきた役割とその力を考えます。あわせてパブロ・ピカソの傑作《ゲルニカ》を高精細映像でご紹介します。



鴻池朋子 《風が語った昔話》 2015年
高松市美術館
撮影：永禮 賢



靉光 《梢のある自画像》
1944年 東京藝術大学



石内都 《ひろしま #9 donor : Ogawa, R.》
2007年 作家蔵
© Ishiuchi Miyako 「ひろしま#9」 donor:Ogawa, R. Courtesy of
The Third Gallery Aya



第5章 作家の生き様と美 ～アトリエ＆創作の現場

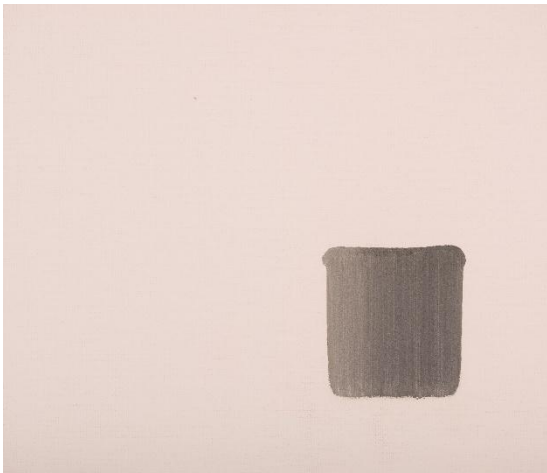
作家が最も長い時間を過ごすアトリエ。そこで1つの作品が、作家の身体を通して生まれ出ようとする瞬間を目の当たりにする醍醐味は格別です。放送時の映像とともに制作の過程で作家が語る言葉に耳を傾けながら、創造という行為の深淵を感じてみてください。



岡本太郎 《遭遇》
1981年 川崎市岡本太郎美術館



舟越桂 《水に映る月蝕》 2003年 個人蔵
© Katsura Funakoshi, Courtesy of Nishimura Gallery



李禹煥 《照応》1998年 静岡県立美術館

関連イベント

■記念トークショー「“私”の日曜美術館」

日時：2026年11月23日（月・祝）14:30 - 15:30

会場：大阪中之島美術館1階ホール

登壇者：坂本美雨（番組司会）、番組制作スタッフ

内容：番組司会者や番組制作者が、それぞれの目線から見た日曜美術館を語ります。

定員：180名（事前申込による抽選）

参加費：無料 ＊本展観覧券（利用後の半券可）が必要です。

申込方法：大阪中之島美術館公式サイトイベントページからお申込みください。

受付期間：10月12日（月・祝）10:00 - 10月23日（金）23:59

＊抽選の結果は11月2日（月）10:00にメールにてご連絡いたします。



坂本美雨（ミュージシャン）

1980年、音楽一家に生まれ、東京とニューヨークで育つ。1997年、「Ryuichi Sakamoto feat. Sister M」名義で歌手デビューし、80万枚を超えるヒットを記録。1999年には、高倉健主演映画『鉄道員(ぽっぽや)』の主題歌「鉄道員」を担当した。音楽活動に加え、ラジオやテレビの司会、ナレーション、執筆、演劇など、表現の幅を広げている。2011年よりTOKYO FM/JFN系全国ネットのラジオ番組『坂本美雨のディアフレンズ』でパーソナリティを務め、2024年4月からはNHK Eテレ『日曜美術館』の司会に就任。

■井上涼の歌&トークショーwith NHK日曜美術館50年展

日時：2026年12月5日（土）①11:00 - 12:00 ②14:00 - 15:00

会場：大阪中之島美術館1階ホール

登壇者：井上涼（アーティスト）ほか

内容：歌とトークを通して、展覧会に登場する美術や「日曜美術館」の魅力を親しみやすく紹介します。作品や作家にまつわる楽曲や映像も交えながら、美術の楽しさや発見を子どもから大人までわかりやすくお届けします。

定員：各回180名（事前申込による抽選）

参加費：無料 ＊本展観覧券（利用後の半券可）が必要です。

申込方法：大阪中之島美術館公式サイトイベントページからお申込みください。

受付期間：10月26日（月）10:00 - 11月6日（金）23:59

＊抽選の結果は11月13日（金）10:00にメールにてご連絡いたします。

＊保護者1名につき未就学児童1名膝上観覧可。小学生以上はお申し込みが必要です。



井上涼（アーティスト）

1983年兵庫県生まれ。2013年 - 2026年まで世界の美術を歌とアニメで紹介するNHK Eテレの美術番組「びじゅチューン!」で作詞、作曲、歌、アニメを担当。まんが「井上涼の美術でござる」を「月刊ニュースがわかる」で不定期連載中。全国各地の美術館で展覧会を行っている。ほかの作品に「赤ずきんと健康」「確信」などがある。

大阪会場で楽しむ特別企画

■オオカミベンチがやってくる!

万博でも話題となった「オオカミベンチ」が大阪中之島美術館に! 本展出品作家の鴻池朋子さんが制作されました。ぜひ触って座って楽しんでください。



展示期間: 2026 年 10 月 10 日 (土) - 2027 年 1 月 5 日 (火)

時間: 当館の開館時間に準ずる

場所: 大阪中之島美術館 2 階パッサージュ

鴻池朋子 《Wolf Bench / Black & White Fur》
2025 年 作家蔵 © Tomoko Konoike

音声ガイド情報

音声ガイドナビゲーターは「日曜美術館」の司会を務めた俳優の檀ふみさんと井浦新さん。古今東西の“美”の魅力をお伝えします。

会場レンタル版: 700 円 (税込) アプリ版: 800 円 (税込) *アプリ版では、展示替えを含めた全ガイドを収録予定。



檀ふみ *2006 年 4 月 - 2009 年 3 月まで司会を担当

東京都出身。作家の檀一雄を父に持つ。高校在学中に俳優としてデビュー。映画やドラマなど、数多くの作品に出演。エッセイも好評で、「ああ言えばこう言う」(阿川佐和子との共著)は講談社エッセイ賞を受賞。NHKの名物クイズ番組だった「連想ゲーム」の名解答者として長年脚光を浴び、「N響アワー」「新日曜美術館」などの司会も務めた。大河ドラマ「春の波濤」「花の乱」「花燃ゆ」にも出演。また、「日めくり万葉集」の語りや連続テレビ小説「とと姉ちゃん」のナレーションでも高く評価された。そのほか出演作に、ドラマスペシャル「日本の面影」、BS日曜ドラマ「藏」、アメリカKCE TとNHKとの共同制作ドラマ「エドとハル」(邦題) などがある。



井浦 新 *2013 年 4 月 - 2018 年 3 月まで司会を担当

1974 年生まれ、東京都出身。98 年に映画「ワンダフルライフ」に初主演。「かぞくのくに」でブルーリボン賞助演男優賞を受賞。映画を中心にドラマ、ナレーションなど幅広く活躍。主な出演作に、映画「実録・連合赤軍 あさま山荘への道程」、「光」、「ニワトリ☆スター」、「止められるか、俺たちを」シリーズ、「福田村事件」など。NHKは大河ドラマ「平清盛」、スペシャルドラマ「返還交渉人〜いつか、沖縄を取り戻す〜」、連続テレビ小説「なつぞら」などに出演、Eテレ「日曜美術館」の司会も務めた。2024 年大河ドラマ「光る君へ」では、藤原道長の長兄・藤原道隆を演じた。



開催概要

展覧会名 NHK日曜美術館50年展

会期 2026年10月10日（土） - 12月20日（日）＊会期中、一部作品の展示替えがあります。

休館日 月曜日、10月13日（火）、11月24日（火）＊10月12日（月・祝）、11月23日（月・祝）は開館

開場時間 10:00 - 17:00（入場は16:30まで）

会場 大阪中之島美術館 5階展示室

観覧料 一般2000円（前売・団体1800円）

高大生1200円（前売・団体1000円）

小中生500円（前売・団体300円）

ペアチケット 一般3500円（販売場所：ローソンチケット（Lコード55781））

＊税込価格。

＊前売券およびペアチケット販売期間 8月10日（月）10:00 - 10月9日（金）23:59

＊本展は日時指定制ではございません。

＊団体料金は20名以上。団体鑑賞をご希望の場合は事前に大阪中之島美術館公式サイトからお申込みください。

＊学校団体の場合はご来場の4週間前までに大阪中之島美術館公式サイト「学校団体見学のご案内」からお申込みください。

＊障がい者手帳等をお持ちの方（介護者1名を含む）は当日料金の半額（要証明）。ご来館当日、2階のチケットカウンターにて
お買い求めください。（事前予約不要）

＊一般以外の料金でご利用になる方は証明できるものを当日ご提示ください。

＊本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。

＊災害などにより臨時で休館となる場合があります。

【チケット販売場所】

ART PASS、ローソンチケット（Lコード：55781）、チケットぴあ（Pコード：687-520）、イープラス、
セブンチケット（セブンコード：116-360）、アソビュー！、楽天トラベル など

主催 大阪中之島美術館、NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿

企画協力 NHKエデュケーショナル

協賛 NISSHA

展覧会公式サイト <https://nichibiten50.jp/>

美術館公式サイト <https://nakka-art.jp/>

お問い合わせ 06-4301-7285 大阪市総合コールセンター（なにわコール）＊受付時間8:00 - 21:00（年中無休）



[広報用画像一覧] NHK日曜美術館50年展

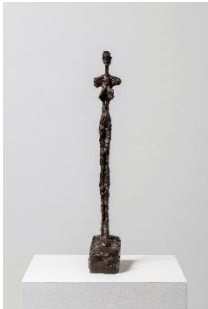
本展の展示物等の画像を、広報素材としてご提供いたします。下記申し込みフォームよりお申し込みください。

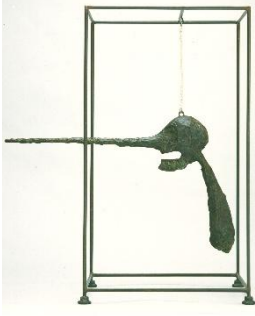
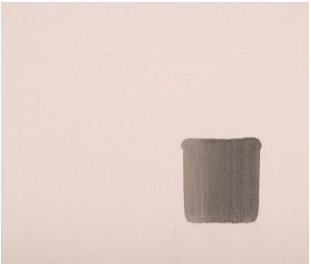
[広報用画像申込フォーム]

<https://business.form-mailer.jp/fms/8134a540361806>

*難しい場合は申込書に必要事項をご記入のうえ、広報事務局までご送付ください。

■ 広報画像をご使用の際は、別紙に記載の「画像使用全般に関する注意」を必ずご確認ください。

(1) 	(2) 	(3) 
(4) 	(5) 	(6) 
(7) 	(8) 	(9) 
(10) 	(11) 	(12) 

(13) 	(14) 	(15) 
(16) 	(17) 	(18) 
(19) 	(20) 	(21-1) 
(21-2) 		



[広報用画像クレジット一覧] NHK日曜美術館50年展

No.	クレジット・作品名・年代・キャプション
1	石田徹也 《飛べなくなった人》 1996年 静岡県立美術館
2	《縄文土器 深鉢 火焰型土器》 新潟県長岡市深沢町岩野原遺跡出土 縄文時代（中期） 國學院大學博物館
3	塩見亮介 《白銀角鴬面附白絲緞兜袖》 2022年 個人蔵
4	鴻池朋子《皮緞帳》2015年 高橋龍太郎コレクション 撮影:中道淳(ナカサ&パートナーズ) © Tomoko Konoike
5	岡本太郎 《遭遇》 1981年 川崎市岡本太郎美術館
6	ポール・セザンヌ 《水浴》 1883 - 87年 公益財団法人大原芸術財団 大原美術館
7	オーギュスト・ロダン 《考える人》 1880年 静岡県立美術館
8	エドヴァルド・ムンク 《マドンナ》 1895 - 1902年 群馬県立近代美術館 ＊展示期間：11月17日 - 12月20日
9	高橋由一 《花魁》 重要文化財 1872年 東京藝術大学
10	アルベルト・ジャコメッティ 《腕のない細い女》 1958年 彫刻の森美術館 (公益財団法人彫刻の森芸術文化財団)
11	志村ふくみ 《舞姫》 2013年 個人蔵 ＊展示期間：11月17日 - 12月20日
12	志村ふくみ 《柳の国》 2012年 個人蔵 ＊展示期間：10月10日 - 11月15日
13	アルベルト・ジャコメッティ 《鼻》 1947年 大阪中之島美術館
14	安藤緑山 《竹の子に梅 牙彫置物》 大正 - 昭和初期 京都国立近代美術館 撮影：木村羊一
15	鴻池朋子 《風が語った昔話》 2015年 高松市美術館 撮影：永禮 賢
16	髪光 《梢のある自画像》 1944年 東京藝術大学
17	石内都 《ひろしま #9 donor : Ogawa, R.》 2007年 作家蔵 © Ishiuchi Miyako 「ひろしま#9」 donor:Ogawa, R. Courtesy of The Third Gallery Aya
18	舟越桂 《水に映る月蝕》 2003年 個人蔵 © Katsura Funakoshi, Courtesy of Nishimura Gallery
19	李禹煥 《照応》 1998年 静岡県立美術館
20	ポスターデータ ＊クレジット不要
21-1	展覧会ロゴデータ ＊クレジット不要
21-2	展覧会ロゴデータ ＊クレジット不要



[広報用画像申込書] NHK日曜美術館50年展

[画像使用全般に関する注意]

- ・本展広報用画像の使用は、展覧会の紹介を目的とした報道に限らせて頂きます。ご使用可能期間は本展会期終了までです。
- ・ご使用の際は、展覧会名、会期、会場名、所定の作品データ、所定のクレジットを必ずご掲載ください。
- ・画像はすべて全図で使用してください。トリミング、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- ・本展終了後の掲載、画像の二次使用はできません。本展会期中であっても再放送や転載をされる場合は広報事務局にご連絡ください。
- ・展覧会基本情報と広報画像の確認のため、校正を本展広報事務局にお送りくださるようお願いいたします。
- ・インターネットでご紹介いただく場合はコピーガードをかけてご使用のうえ掲載URLをお知らせください。
- ・掲載誌・紙（ご紹介号）、同録DVDほかを下記広報事務局まで1部お送りください。

[広報用画像申込フォーム]

<https://business.form-mailer.jp/fms/8134a540361806>

*難しい場合は申込書に必要事項をご記入のうえ、広報事務局までご送付ください。

ご希望の広報画像／1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17・18・19・20・21-1・21-2	
貴社名／	
お名前／	
部署／	ご所属／
貴媒体名／	媒体種／
サイトURL／	
掲載号・露出予定日／	月号（月日号）／月日発売予定 ☐ WEBへの転載あり
TEL／	FAX／
E-MAIL／	
☐ チケットプレゼントを希望する（最大2組4名様） *招待券のご提供は、広報用画像1点以上を掲載の上、本展をご紹介いただける場合に限りさせていただきます。	
送付先／〒	
備考／	

報道関係者
お問い合わせ先

「NHK日曜美術館50年展」広報事務局（株式会社TMオフィス内）
担当：馬場、永井、西坂 TEL：090-6065-0063（馬場） 090-5667-3041（永井）
テレフォンセンター：050-1807-2919 FAX：050-1722-9032 E-MAIL：nichibiten50@tm-office.co.jp